

住民懇談会を開催

総合計画と、第二次市都市計画マスタープラン、市立地適正化計画を策定するため、同会を開催します。

市民の皆さんの意見を踏まえ計画を策定

人口減少・少子高齢化の急速な進行や、震災からの復興・創生など、本市を取り巻く環境が大きく変化し、各種施策分野において新たな課題が生じています。こうした状況を踏まえ、総合計画と、第二次市都市計画マスタープラン、市立地適正化計画の策定を進めていきます。

市民の皆さんの意見を踏まえ、各計画を策定するに当たり、住民懇談会を開催します。市内に居住している方なら、どなたでも参加できます。

各計画の概要

総合計画
同計画は、地方自治体ごとに策定している長期計画

で、まちづくりの指針となります。本市の特性や、課題、社会情勢の変化を踏まえ、将来のまちづくりに向けてどのような手法で取り組むかなどを定めています。現行計画の期間が、平成十三年度から平成三十二年度までとなっているため、本年度から新たな同計画の策定に向け検討を進めます。

第二次市都市計画マスタープラン
平成十年度に、都市計画の基本的な方針である都市計画マスタープランを策定しました。策定からおおむね二十年を迎え、各種事業の進捗や、震災に係る復興事業を踏まえた整合などを図り、社会情勢の変化に対応するため、

とき	ところ
5月7日(月)	田人ふれあい館
5月8日(火)	三和ふれあい館
5月10日(木)	上遠野公民館
5月11日(金)	川前公民館
5月14日(月)	久之浜・大久ふれあい館
5月15日(火)	小川公民館
5月17日(木)	四倉公民館
5月18日(金)	好間公民館
5月21日(月)	内郷公民館
5月22日(火)	常磐公民館
5月24日(木)	勿来市民会館
5月25日(金)	泉公民館
5月28日(月)	中央台公民館
5月29日(火)	小名浜公民館
5月30日(水)	産業創造館

※時間はいずれも18時30分からです。



同計画を策定します。
市立地適正化計画
急速な人口減少などにより、低密度化した市街地が形成されていくことを想定し、国が立地適正化計画制度を創設しました。

同制度に基づき、将来にわたり持続可能な都市の運営を実現するため、同計画を策定します。

お問い合わせ
総合計画
政策企画課政策推進係
☎22・1216
第二次市都市計画マスタープラン、市立地適正化計画
都市計画課計画係
☎22・7511

募集 未来への道1000km縦断リレー2018の参加者

スポーツ振興課東京オリンピック・パラリンピック担当 ☎22-7032

7月24日(火)から8月7日(火)まで15日間の日程で、青森県から東京都まで、ランニングと自転車で東日本大震災の被災地を縦断するリレーを実施します。8月3日(金)・4日(土)は、市内を走行しますので、参加者を募集します。

▶内容 種目/1区間の走行距離/1区間の定員
①一般ランニング/約1~10km/8人程度
②自転車/約10~30km/1~3人程度
(いずれも応募多数の場合は抽選)

▶申込期限 5月31日(木)
※申し込み方法など詳しくは、1000km縦断リレー公式ホームページ (<http://www.1000km.jp/>) をご覧ください。

第30回危険業務従事者叙勲

同叙勲は、警察官や自衛官、消防吏員など、著しく危険性の高い業務に精励した方に贈られるものです。

本市からは、次の8人の方々が晴れの栄誉に輝きました。

＝年齢は4月29日現在。50音順・敬称略＝

瑞宝双光章

- ▷小澤利幸(71)=元県警視 常磐上湯長谷町
- ▷鈴木壽一(65)=元市消防監 平鎌田
- ▷鈴木征男(73)=元市消防司令長 平中山
- ▷常恒榮二(71)=元県警部 平

瑞宝単光章

- ▷鈴木洋行(71)=元警視庁警部補 平下平窪
- ▷中川栄三(67)=元准陸尉 内郷宮町
- ▷山野邊信也(71)=元県警部補 錦町
- ▷吉田清正(65)=元海上保安官 永崎



平成29年度消防庁長官表彰

次の13人の方々が、永年勤続功労章を受章しました。同章は、消防業務に長年従事し、その成績が優秀で、他の模範と認められる消防団員などに贈られるものです。

＝年齢は3月1日現在。支団(所属、階級)順・敬称略＝

- ▷草野英晋(60)=第2支団団員 小名浜島
- ▷田子伸一(59)=第3支団分団長 川部町
- ▷猪狩真一(57)=第5支団分団長 好間町川中子
- ▷菊谷修一(56)=第5支団副分団長 内郷内町
- ▷本多和明(65)=第5支団団員 内郷御台境町
- ▷飯塚昌保(63)=第5支団団員 内郷綴町
- ▷齋藤正明(62)=第5支団団員 内郷御殿町
- ▷松浦秀信(59)=第6支団分団長 川前町川前
- ▷大貫秀雄(60)=第6支団副分団長 川前町下桶売
- ▷小松成光(57)=第6支団副分団長 小川町西小川
- ▷高木清三郎(55)=第7支団分団長 四倉町上仁井田
- ▷折原忠利(62)=第7支団副分団長 大久町大久
- ▷遠藤進介(59)=第7支団班長 久之浜町

いわき市と国立大学法人東京大学先端科学技術研究センターとの連携及び協力に関する協定を締結

市は、3月20日に、国立大学法人東京大学先端科学技術研究センターと、同協定を締結しました。

同協定に基づき、産学官連携による共同研究および技術開発や、人材育成のための協力・連携など、環境・エネルギー分野における学術振興や、産業の発展に向けた取り組みを進めていきます。



環境・エネルギー分野の学術・産業の振興に向け協定を締結

6/9(土) 第47回全国林業後継者大会 開催 2018福島大会inいわき

林務課林務係 ☎22-7474

同大会は「未来へとつなげる心 森林づくり」をテーマに、全国の林業後継者が一堂に会し、森林作りへの先人の考えや、日頃の取り組みについて意見を交わすために開催するものです。

同大会に合わせて、10時から15時まで平中央公園で、木材の加工体験など森林・林業に触れ合えるコーナーを設置するほか、いわきトマトFes!!を開催しますので、ぜひご来場ください。

※詳しくは、同課へお問い合わせください。



いわきの歴史を伝える文化財

市教育委員会は、五月一日、新たに一件の有形文化財を市指定文化財に指定しました。今回の指定により、市指定文化財は百九十一件となりました。

○木造阿弥陀如来立像（旧秀明院阿弥陀堂本尊）

（附）棟札一枚 小名浜浄光院所有

像高は六十三・六センチメートルで、一木造りの技法で作られています。いわき地方では、在地の仏師によって、一木造りの技法が平安時代から継承されており、本像も在地の仏師の作品と考えられます。



木造阿弥陀如来立像（附）棟札一枚

螺髪と呼ばれる髪の毛は、大きく荒々しく彫り出され、面長な顔立ちには、味わい深い表情がうかがえます。体つきに比べて頭部が細長く、衣の着け方も胸部で極端に狭く胸の露出を少なくすることで、直線的な襟の線を作り出しており、素朴な造形です。衣のひだの彫り出しにはのびやかさがあり、形式にとられない自

由さも見られます。像の背面には、天文二十（一五五二）年に作られたことや、貞享元（一六八四）年に再び彩色を施したことなどが書かれており、造立年代が明確なことから、室町時代後半のいわき地方の基準となる作例です。旧秀明院阿弥陀堂の棟札からは、貞享元年に阿弥陀堂が再興されたことが分か

ります。また、棟札の裏面には、江戸から来た彩色職人集団が彩色を施したことなども記載されており、職人たちの交流もうかがえるなど、歴史資料としても価値があります。

○お問い合わせ

文化振興課文化財係
☎22・7546

地名の中の『いわき』

今につながる明治初期の合併②

江戸時代、十万石（後に十二万石）の大目として、現在の本市の大半を所領した鳥居家は、物見ヶ岡（現在の平旧城跡）に警城平城を築きました。

この「警城平」は正式な地名ではありません。所領する地域の名称で支配地にすぎず、幕府の都合で改変することができたからです。警城平城の周辺の地名は、あくまでも陸奥国警前郡北目村でした。警城平城下は北目村、町分村、長橋村、



4つの村が合併した平町〔1：50,000地形図（明治41（1908）年測図）〕

地名には、地域の歴史を知るヒントが隠されています。市内各所の地名にまつわる由来などを紹介し「いわき」の歴史をひもときます。

拾五町目村に分かれていました。町分村は、現在の平五町目と新川町の辺りから夏井川までの区域で、その西方は拾五町目村となっていました。また、長橋村は拾五町目村の西方、北目村は現在のいわき駅やその北方の区域でした。明治十六（一八八三）年二月に、四つの村は合併して平町となり、このとき初めて地名として「平」が誕生しました。それぞれの村が市街地の一部として密接につながっていたため、一つの行政体を形成することは、ごく自然の成り行きであったといえます。

明治十四（一八八一）年五月に、平町と同じ経緯で四つの村が合併して小名浜町が成立しました。小名浜町は、小名川の東方を区域とする米野村と、小名川から西にかけて藤原川までの区域に位置していた中島村、中町村、西町村を統合したものでした。（いわき地域学會 小宅幸一）

※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課（☎22・7503）までご連絡ください。

連載シリーズ

こんにちは市長室から ③



太平洋・島サミット リターンズ

いわき市長 清水 敏 男

「太平洋・島サミット」は、日本が太平洋の島国との絆を強化するため、平成9年から3年ごとに開催されている国際首脳会議です。これまで、東京都、宮崎県、沖縄県、北海道で開催されていましたが、本市も第6回サミットより官民を挙げて誘致活動を展開した結果、震災からの復興の後押しもあり、福島県初の国際首脳会議として、平成27年の第7回サミットが開催されました。そして、その

際のおもてなしが、各国首脳から高い評価を受けたことで、第8回サミットの開催地選考において、再び本市が選ばれ、2回連続で開催されることになりました。大変名誉なこと受け止めています。

今月18日・19日に第8回サミットの本番を迎えます。本番に向けて、高校生による応援隊を組織するとともに、市内17校の小・中学生が歓迎横断幕を制作するなど、機運醸成に努めています。また、各国首脳・夫人の皆さんを対象とした視察・体験プログラムについても、前回にも増して、喜んでいただけるよう万全の準備をしているところです。

サミットの開催を通し、震災から復興する本市を国内外に発信するとともに、いわきの都市ブランド力の向上につなげてまいります。

5/16(水) 全国瞬時警報システム（Jアラート）情報伝達訓練を実施

危機管理課危機管理係 ☎22-7551

同システムの動作確認のため、全国一斉に防災行政無線などの情報伝達訓練（試験放送）を実施します。

市防災メール、FMいわき緊急割り込み放送などでも、情報を配信しますが、防災行政無線のサイレンは鳴りません。



○放送内容

これはJアラートのテストです（繰り返し3回）、こちらは防災いわき広報です

※災害の発生や、気象状況などによっては、訓練を中止する場合があります。

開催 歯と口の健康まつり

保健所地域保健課健康増進係 ☎27-8594

歯と口の健康は、私たちが健康に生きていく力を支えるものです。6月4日から10日の「歯と口の健康週間」に合わせて、歯と口の健康まつりを開催します。

▶とき 6月10日(日) 12時30分～15時

▶ところ 総合保健福祉センター

▶内容 「歯と口の健康週間」
図画・ポスター・書写・標語コンクール入賞作品の展示や、歯科健康相談など



歯磨きの方法を学ぶ参加者